

新潟市農業の将来ビジョンに関する政策提言

～危機的状況から発展経路への転換に向けて～

2018.03.19 (公財) 食の新潟国際賞財団

◆新潟市農業将来ビジョン研究会 政策提言

- 1 米の生産性向上と需要に応じた供給体制の整備
- 2 園芸生産の導入による水田農業の確立
- 3 農業と食品産業の有機的連携による高付加価値産業化



Niigata Award

■新潟市農業の課題

1 米需要は、今後一層変化する

- 高齢化と少子化の進展による人口減少のさらなる加速化
- 米の需要は量、質ともに変化
 - ・年間8万トンの減の拡大の恐れ
 - ・家庭用の減、業務用・加工用の伸展

2 主食用米生産への過度な依存

- 青森県や秋田県は、主食用米生産に依存した農業構造から園芸複合への転換に取り組み農業産出額が増大

3 市内に賦存するポテンシャルの不十分な活用

- 集積された食品産業と、広大な農地と意欲的な経営者による農業との連携不足

■国の政策に対する要請

- 1 米の需要に対応した弾力的供給の確保と水田農業の経営安定の確保
 - ①水田農業経営の安定のための収入(又は所得)に着目した支援措置の導入
 - ②業務用及び加工原材料用の需要に対応した10a所得の最大化
 - ③オープンな現物市場の育成
 - ④米の輸出拡大に向けた環境整備
- 2 家族経営から雇用労働力を中心とした農業経営への転換の円滑化
- 3 地理的条件等によるコスト要因の解消に対する支援

■新潟市が構築すべき政策

- 1 「米王国」にふさわしい実力発揮と競争力をもった産地の創生
 - ①実需ニーズの的確な把握と実需・消費地との結び付き
 - ②低コスト化・競争力強化のためのほ場整備、ICT等省力化技術の導入
 - ③米の輸出基地形成に向けた取り組み
 - 2 水田農業経営の構造転換を通じた所得確保
園芸団地の形成と市場・販路拡大及び民間企業とのプラットフォームの構築
 - 3 新潟市の農業発展とまちづくり振興の両立のための措置
 - ①農地を含めた土地の有効活用を図るため「まちづくり」の観点から、農業の振興と地域住民の定住環境の整備を一体的に推進する仕組み
 - ②低平地に市街地と農地が形成されている新潟市の水路・水利施設が農業や市民生活の面等で果たす役割を踏まえた地域マネジメントのあり方
- **新潟市における検討体制及び実施体制の整備**
市長直属の検討体制を整備し、1年以内に結論を得て実行に移すべき